

〔I〕 次の文章を読んで設問に答えなさい。設問1, 2は記述解答用紙の所定欄に記し, 設問3はマーク解答用紙の所定欄に一つマークしなさい。

王権はエジプトとメソポタミア共に紀元前3000年までに成立していた。以後, それぞれの地域において支配領域を拡大したが, 紀元前7世紀に の王がエジプトを征服したように, 全オリエント世界を支配する王権も出現した。両文明はともに長い伝統を誇るが, エジプト新王国時代がアジア系とされる の支配を脱して成立したように, 王権は単一民族でなく, 蛮族と見なされた者も含めて多くの民族によって担われた。特にメソポタミアに顕著であるが, 新来の民族が支配者となっても過去を否定することなく, 伝統を継承して統治した。ダレイオス1世が, ベヒストゥーン碑文を異なる3種の言語で記したのは, 伝統の重層的なあり方を尊重したためであろう。

設問1 に入る適切な語を記しなさい。

設問2 に入る適切な語を記しなさい。

設問3 下線部に関して, 次のア～エのなかで, この3種の言語に入っていない言語はどれか。

ア アッカド語 (バビロニア語) イ アラム語 ウ エラム語 エ ペルシア語

〔II〕 次の文章を読んで設問に答えなさい。設問1, 3はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし, 設問2は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

東南アジアは, 香木や香辛料などの産物に富み, インドや中国, イスラーム世界と接触しながら独自の文明を築いた。前近代の東南アジアには, 東アジアや南アジアとの交易で栄えた国家が多くみられる。

とくに, 東南アジアの15世紀から17世紀は「交易の時代」とよばれ, などを中心に活発な交易活動が展開された。この時代はまた東南アジアに西欧が進出した時代でもあり, は1511年にはポルトガルに占領され, 同国の拠点となった。

設問1 下線部 a に関する以下の記述のうち, 誤っている記述の組み合わせはイ～ニのどれか。

- 1 インドの叙事詩である『ラーマーヤナ』は, 東南アジア各地で影絵や舞踊のテーマとなった。
- 2 紀元前からベトナム北部地域は中国の支配下にあったが, 10世紀末には南宋に独立を認めさせた。
- 3 扶南の港であったオケオ遺跡からはインドからもたらされた神像や仏像のほか, ローマ金貨などが出土している。
- 4 チャオプラヤ川下流域のパガン朝は上座部仏教が盛んであった。

イ 1と4 ロ 2と3 ハ 1と3 ニ 2と4

設問2 に入る適切な語をカタカナで記しなさい。

設問3 下線部 b に関する以下の記述のうち, 誤っているものはどれか。

- イ 交易の時代の東南アジアには日本人も進出し, 各地に日本人が集住する日本町があった。
- ロ 鄭和の遠征艦隊は7回派遣され, 南海諸国の明朝に対する朝貢を勧誘した。
- ハ オランダ東インド会社の東南アジアにおける最大の拠点は, マニラであった。
- ニ ガレオン船によって運ばれたメキシコ銀は, 日本銀とともに中国にも流入した。

〔Ⅲ〕 中国の思想史に関するA～Cの文を読んで、各設問に答えなさい。設問1, 2, 3, 5, 7はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークしなさい。設問4, 6は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

A 春秋・戦国時代、旧い社会秩序が弛緩・崩壊してゆく中で、人々は新しい社会秩序をもとめ、ここに中国史上類をみないさまざまな思想家・学派が登場した。その学問の一大中心が齊のいわゆる「稷下の学」で、その中に諸子百家の多くの人の名がみえる。

設問1 以下の思想家と学派の関係に関する文の中で、不適切なものはどれか。

- ア 墨家は家族道徳を社会秩序の基本におく儒家に対して、兼愛を説いた。
- イ 名家の公孫竜は「白馬は馬にあらず」と論じ、名（言葉）と実（実体）の関係を明らかにしようとした。
- ウ 縦横家の蘇秦は六国が同盟して秦に対抗する連衡策を説いた。
- エ 陰陽家の鄒衍は五行説によって王朝交替の順序を理論づけた。

設問2 齊の領域として、適切なものはどれか。

- ア 黄河中流域 イ 黄河下流域 ウ 長江中流域 エ 長江下流域

B 儒家は春秋末の孔子により創始され、戦国時代に孟子や荀子らによって発展したが、秦のとき弾圧に遭った。前漢の武帝のとき、董仲舒は孔子の教えだけを尊ぶことを主張し、^a 儒学が官学となったとされてきたが、^b 近年では反論も提起されている。その後、^c 經典の解釈学が盛んとなり、唐代にその集大成である『五経正義』が編纂された。

設問3 下線部aの二人の人物に関して、不適切なものはどれか。

- ア 孟子は性善説を唱え、王道政治を説いた。
- イ 孟子の言行は『孟子』に記録され、四書の一つとなった。
- ウ 荀子は性悪説を唱え、礼を重視した。
- エ 荀子の弟子に法家の商鞅と韓非がいる。

設問4 下線部bを含む秦の思想統制を目的とする弾圧を何というか。漢字四字で記しなさい。

設問5 下線部cの編纂者は誰か。

- ア 鄭玄 イ 孔穎達 ウ 韓愈 エ 柳宗元

C 道家の老子と荘子の思想は、儒家や墨家の人為主義を否定し、「道」と「無為自然」を説く。とくに『老子』は、近年、戦国時代のテキストが発見されて、その思想の成立過程が注目されている。道家の思想は魏晉時代に「老荘思想」として流行し、哲学的な議論の（あ）の中に取り入れられ、^d 仏教受容の媒介ともなった。

設問6 空欄（あ）の最も適切な語句を、漢字二字で記しなさい。

設問7 下線部dに関し、魏晉南北朝時代の状況を述べた文で、不適切なものはどれか。

- ア 西域僧の鳩摩羅什は、後秦に迎えられ、長安で多数の仏典を漢訳した。
- イ 西域僧の仏図澄は、後趙で重用され、布教と共に多くの漢人僧を育成した。
- ウ 東晋の法顕は、戒律の仏典を求めて、ヴァルダナ朝支配下のインドに渡った。
- エ 雲崗石窟の仏像には、ガンダーラ様式、グプタ様式の影響がみられる。

〔Ⅳ〕 次の文を読み設問に答えなさい。設問1～3はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問4は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

中央集権官僚支配体制をとる中国王朝に党争はつきものであった。党争は権力闘争であり、時の状況によってさまざまな形をとる。北宋神宗朝の新旧両党派の争いは王安石の新法政策をめぐって展開した政策論争であったが、やがて政策の中味より人事権の争奪の様相を呈し、北宋滅亡の遠因となった。明は東林・非東林派の争いが有名である。宦官魏忠賢の政権壟断に対し、東林書院を拠点に儒教派官僚が起こした批判運動であったが、宦官側につく官僚も居り、東林派は徹底的な弾圧を受けた。明に替わって中国を統治した清は、19世紀末になると改革をめぐる変法派と保守派の対立が先鋭化する。西欧技術の導入だけに終わる洋務運動を批判した変法派は、立憲君主制を目指す政治改革を主張した。しかし、王朝体制維持に固執する保守派が容認するはずもなく、戊戌の変法はあえなく潰えた。20世紀になると、清朝はようやく政治改革に踏み出したが、やがて辛亥革命を迎えるに至った。

設問1 下線部Aについて、関連する説明で正しいものはどれか。

- ア 最初は王安石の改革に期待した官僚たちであったが、農村への貸出である青苗法が施行されると大多数が新法に反対するようになった。
- イ 旧法党の領袖と目された司馬光は、中央政府を追われると、洛陽で『資治通鑑綱目』の撰述に専心して完成させた。
- ウ 旧法党から政権を奪還した秦檜は、権力を手にすると主和論者となり、宋、遼、金の三国が鼎立するなかで和議を主張した。
- エ 徽宗・欽宗が北方に拉致されて北宋が滅亡するに至った一連の事件を、後世の史書は「靖難の役」と呼ぶ。

設問2 下線部Bについて、この運動およびそれを継承した動きに関係しない人物は誰か。

- ア 顧炎武 イ 黄宗羲 ウ 顧憲成 エ 錢大昕

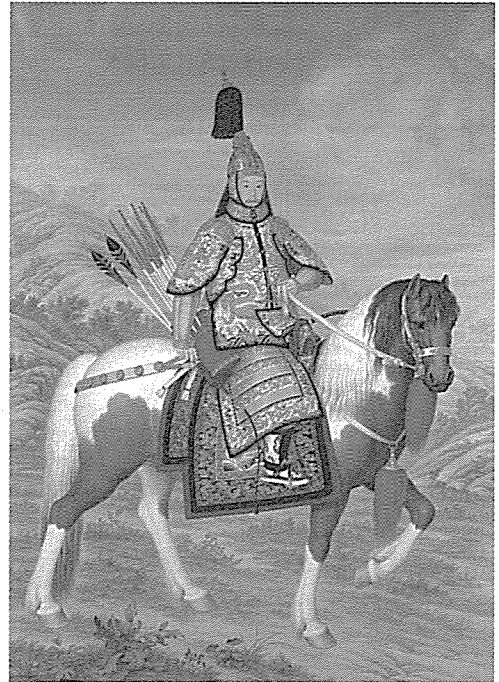
設問3 下線部Cについて、その説明として誤っているのはどれか。

- ア 康有為は、変法の主張を正当化する理論的根拠を『春秋公羊伝』に求めた。
- イ 変法を強行した光緒帝は、伯母の西太后によって幽閉され改革は頓挫した。
- ウ 明治維新を範として改革を進めた梁啓超だが、失敗後はアメリカに亡命した。
- エ 軍の近代化を進めた袁世凱は、保守派に寝返り変法派を弾圧した。

設問4 下線部Dについて、その経緯を光緒新政、義和団事件、革命派という語を使用して50字以内でまとめなさい。

[V] 次の絵についての説明文を読んで、以下の設問1、2に答えなさい。設問1は記述解答用紙の所定欄に記し、設問2はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークしなさい。

右の作品は、A が描いたとされる儀礼用の甲冑を着けた皇帝の肖像画で、北京の故宮博物院に所蔵されている。着衣や馬に用いられた陰影法は西洋画の技法で、ジュンガルを滅ぼすなど十回に及ぶ遠征をおこない王朝の最大版図を築いた皇帝の雄姿を生き活きと描写している。A は宮廷画家として活躍し、多くの絵画作品を残したほか、北京郊外に造営されたバロック様式の建築を含む離宮の設計にも携わった。



設問1 空欄Aに入る画家の名前を記しなさい。

設問2 この絵に描かれた皇帝は誰か。次の中から選びなさい。

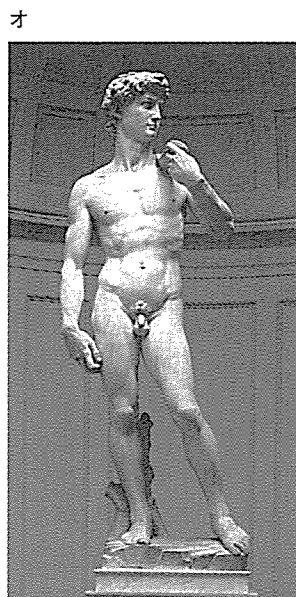
- ア 洪武帝
- イ 乾隆帝
- ウ 永楽帝
- エ 康熙帝

[VI] 以下の文を読んで、設問1、2に答えなさい。設問1は記述解答用紙の所定欄に、設問2はマーク解答用紙の所定欄に記すこと。

西洋美術の動向（時代様式）を表す語は、もともと軽蔑やからかいといった否定的な意味をもつ場合が少なくなかった。ゴシックは、「ゴート族の」、つまり野蛮な、という意味であったし、バロックは「歪んだ真珠」という、宝飾として劣った価値の語であった。印象派は、「単なる印象にすぎない曖昧な絵を描く画家たち」というからかいの評価であった。しかし時とともに、それぞBれの時代特有の価値が認められ、今日ではこうした語を否定的に用いる者はいないのである。

設問1 下線部Aに関して、ふさわしいものを以下から三つ選んで、その記号を記しなさい。

- ア 13世紀 イ 15世紀 ウ 17世紀
- エ



- キ レンブラント ク レオナルド=ダ=ヴィンチ ケ セザンヌ

設問 2 下線部 B について、ふさわしい画家を一人選びなさい。

ア ピカソ イ モネ ウ ゴッホ エ ラファエロ

〔Ⅶ〕 以下の文章を読み、設問に答えなさい。設問 2, 3, 5 はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問 1, 4 は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

古代ローマ帝国の崩壊後、中世ヨーロッパ世界の核となったのがフランク王国である。フランク王国では、カール大帝が800年に教皇 a から皇帝冠を授与され、「西ローマ帝国」を復活させ大きな国家を作り上げたが、9世紀半ば以降、王権が弱体化し国家は分裂した。その後、各地で新しい王権が誕生し、12世紀には強力な王権のもとで集権的な国家が生まれた。同時期には都市も発展し、地中海商業の拠点となった北イタリアでは、ドイツ王権に対し自治権を守るために都市同盟が結成された。13世紀に中世ヨーロッパ世界は繁栄期を迎えるが、14世紀には戦争やペスト、民衆反乱などにより社会の矛盾が様々な形で表面化していった。

設問 1 a に入る人名を記しなさい。

設問 2 下線部 b に関して、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- イ 分裂後、東フランク王国では911年にカロリング家が断絶し、有力諸侯の中から王が選ばれるようになった。
- ロ 分裂後、カール大帝により復活された皇帝位は、東フランク王ルートヴィヒ2世が継承した。
- ハ 分裂後、西フランク王国ではノルマン人が定住し、首領ロロがノルマンディー公に封じられた。
- ニ 分裂後、フランク王国の諸地域は外部勢力に脅かされた。とくに東方ではスラヴ人、マジャール人などの脅威にさらされた。

設問 3 下線部 c に関して、正しいものを一つ選びなさい。

- イ イングランドでは、プランタジネット朝の創始者ヘンリ2世が司法改革などを通じ、集権化を図った。
- ロ ノルマン人が創設した両シチリア王国は、オットー朝のオットー1世のときに最盛期を迎えた。
- ハ イベリア半島ではカスティリヤ王国が強大になり、バルセロナ伯と同君連合となった。
- ニ フランスではカペー朝のルイ9世が、イングランド王エドワード3世から大陸のイングランド領を奪い、中央集権と領土拡大を進めた。

設問 4 下線部 d にあてはまる同盟の名称を記しなさい。

設問 5 下線部 e にあてはまる反乱を一つ選びなさい。

- イ プガチョフの乱
- ロ シパーヒーの反乱
- ハ ヴァンデーの反乱
- ニ ジャックリーの乱

〔Ⅷ〕 次の文章を読み、設問に答えなさい。設問 1, 2, 4, 5 はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問 3 は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

16世紀イングランドの宗教改革が国王ヘンリ8世の離婚問題に端を発し、王権による「上からの改革」と言われていることはあまりにも有名である。しかし、イングランドではすでに14世紀には、宗教改革の先駆者としてのウイクリフらが活躍したことを忘れることはできない。ヘンリの改革は16世紀中期の c , 次いでメアリ1世の時期に混乱をみるが、世紀後半エリザベス女王の治世には政治的、宗教的にも一応の安定に至った。しかしイングランド国教会の教義、祭式にはカトリック的な要素が残っているとみる ピューリタン は次第に王権への批判勢力となっていく。またスコットランドでは e が独自の改革を展開していた。

設問1 下線部 a に関して、16世紀イングランドの宗教改革と関係のないものはどれか。

- イ 一般祈禱書 口 統一法 ハ 修道院解散 ニ 権利の宣言

設問2 下線部 b に関連して、ウィクリフについての説明で正しいものはどれか。

- イ ウィクリフは、オックスフォード大学教授を務めた。
口 ウィクリフは、カトリックと距離を置いたが、なおラテン語訳聖書を是とし、英訳聖書を蔑視した。
ハ ウィクリフは、教皇から痛烈に批判され、獄中で生涯を終えた。
ニ ウィクリフは、コンスタンツ公会議に喚問され、ここで自らの神学について論じた。

設問3 空欄 c にあてはまる人名を記せ。

設問4 下線部 d のピューリタンの説明として誤っているものはどれか。

- イ イングランド国教会の改革路線を批判した、カルヴァン派の呼称である。
口 1620年、「ピルグリム＝ファーザーズ」と言われるピューリタンは、北米に信仰の自由を求め移住した。
ハ チョーサーは、代表的なピューリタン思想家である。
ニ 17世紀、ジェームズ1世はピューリタンを弾圧した。

設問5 空欄 e にあてはまる人名はどれか。

- イ ホーキンス 口 ノックス ハ トマス＝モア ニ ミルトン

〔IX〕 次の文章を読み、設問に答えなさい。設問1, 3, 5, 6はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問2, 4は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

フランスの政治体制は、フランス革命の大激動から19世紀へとめまぐるしい変化をくりかえした。王政と共和政と帝政という主^aに三つの政体の変遷である。19世紀後半の1852年に帝位についたナポレオン3世の政治は、一般的にボナパルティズムと呼ばれ、農民・資本家・労働者勢力の均衡を利用した一種の独裁政治であった。ナポレオン3世は、当初は国内での産業革命の促進のために保護政策をとり、公共土木工事を起こしてパリの大改造事業を **A** に実施させた。また彼は「馬上のサン＝シモン」とも呼ばれ、国家主導の権威主義的な産業化政策をおこなった。しかし、1860年代になると彼の治世も自由化・民主化^bの方向へと傾き、フランスの栄光を目指して積極的な外交政策を展開した。1870年、プロイセン主導のドイツとの戦争に敗北すると、帝政は崩壊して臨時政府が設置されたが、一方でパリ＝コミューンという自治政府^dも樹立され、騒乱状態となった。こうして、フランスの政治状況^eは1870年代から19世紀末にかけてまた大きく変化した。

設問1 下線部 a に関連して、フランスで王政や共和政や帝政が成立した状況について述べた次の文の中で、誤りを含むものはどれか。

- イ 1792年8月10日に王権が停止され、新たに招集された国民公会が共和政を宣言した。
口 1804年にナポレオンはクーデタを起こして皇帝に即位し、すぐに国民投票を実施して圧倒的な支持を受け、ナポレオン法典を制定した。
ハ ナポレオン退位後、ルイ16世の弟が1814年に帰国してルイ18世として即位し、復古王政となった。
ニ 1848年2月に、パリの市民・労働者・学生が武装蜂起して革命運動が起こり、共和政が樹立された。

設問2 **A** にあてはまる人物は、当時セーヌ県知事を務めていた。この人物は誰か、人名を答えよ。

設問3 下線部 b に関連して、サン＝シモンは社会主義者とされるが、社会主義や社会主義者に関して述べた次の文の中で、誤りを含むものはどれか。

- イ イギリスの初期社会主義者オーウェンは、労働者の待遇改善や労働組合の設立に努力した。
- ロ 1864年に、労働者や社会主義者の国際的な組織として、第1インターナショナルがロンドンで結成された。
- ハ フランスのフーリエは私有財産を批判して、すべての政治権力を否定する無政府主義運動に影響を与えた。
- ニ ドイツのマルクスは、1848年革命後イギリスに亡命し、社会主義社会の実現を説いて社会主義運動に影響を与えた。

設問4 下線部 c に関連して、1860年代にフランスはイギリス・スペインと共にある国に武力干渉をおこない、フランス主導で現政権を倒し別の人物を皇帝につけた。このある国とはどこか、国名を答えよ。

設問5 下線部 d に関連して、1871年にドイツ帝国が成立したが、ドイツ帝国のもとで起きた事件や、とられた政策が時代順に古いものから正しく並べられているものはどれか。

- イ ロシアとの再保障条約の締結 → 文化闘争の開始 → 社会主義者鎮圧法の制定 → 三国同盟の成立
- ロ 三国同盟の成立 → 社会主義者鎮圧法の制定 → 文化闘争の開始 → ロシアとの再保障条約の締結
- ハ 社会主義者鎮圧法の制定 → 文化闘争の開始 → ロシアとの再保障条約の締結 → 三国同盟の成立
- ニ 文化闘争の開始 → 社会主義者鎮圧法の制定 → 三国同盟の成立 → ロシアとの再保障条約の締結

設問6 下線部 e に関連して、次の文の中で、1870年代から19世紀末にかけてのフランスの政治状況について述べたものにあてはまらないものはどれか。

- イ ナポレオン3世の第二帝政が崩壊した後、第三共和政が樹立された。
- ロ ブーランジェ將軍を支持する反議会主義的な政治運動がおきた。
- ハ カトリック教会の政治介入を排除するため、政教分離法が制定された。
- ニ ユダヤ系軍人ドレフェスに対する冤罪事件がおきた。

[以下余白]